

経過 月日	入院日	検査日当日 (/)	処置後	処置後1日目・退院日 (/)
薬と点滴	現在内服している薬があれば看護師にお渡しください。継続するかを医師・薬剤師が確認します。入院後脱水予防、検査用に点滴をします。	検査は便の性状を見ながら検査室に連絡します。呼ばれるまで病棟内で待機となります。15～16時以降に呼ばれますが遅くなる場合があります。	点滴を翌日まで行います。	点滴は昼頃に終了します。内服は食事開始とともに再開になります。退院時に薬が処方される場合があります。
検査・処置	副作用止めを内服し30分後に2Lの下剤を内服を開始します。内服の仕方は看護師に従って下さい。下剤は便の性状を確認しながら2時間で内服します。(排便は5～8回、尿のようになってくれば検査できます。回数、便の性状は看護師が確認させていただきます。)承諾書はサインをして、看護師へお渡しください。		指示によって帰室後から止血剤入の点滴、抗生剤をします。医師の指示を受けて終了となります。	腹部の診察をします。排便あれば便の性状確認します。レントゲン検査がある場合があります。次回の外来予約は(月日)です。診察前の検査()
生活について	特に制限はありません。排便が出にくい時は病棟内歩行したり、水を摂取したりし排便促して下さい。腹痛や吐き気が出たら速やかに看護師へ報告して下さい。下剤を飲み続けても便意が出ない時も報告して下さい。		処置後車椅子にて病室に戻ります。安静の必要はありませんが、活動しすぎたり、処置後の入浴はお控えください。排便時処置の影響で便に血が混じる事やめまいやふらつきがある場合があります。その時は看護師へ報告して下さい。	医師に確認後、朝からお食事がはじまります。安静度は病院内自由です。
看護	入院までの経過や連絡先などについてお話を伺い、病棟のご案内をいたします。処置前・後の流れについて看護師からご説明いたします。また、準備していただく物品についてもお話をいたします。 <入院に必要な書類> <input type="checkbox"/> 検査同意書 <処置に必要な物品> <input type="checkbox"/> コップ <input type="checkbox"/> 替えの下着(検査時は検査用のパンツ、検査着を着用しますが汚染する可能性があるため検査時替えの下着を 持参して頂きます。	入れ歯や指輪、時計など全ての装身具ははずしてください。検査着に着替え、穴空きスリットパンツを着用します。検査時汚染することがあるため替えのパンツを持参します。	体温、脈拍、血圧など、帰室時、1時間など随時測定します。看護師がお手伝いをし着替えをします。痛みや眠れない時は我慢せずに看護師にお伝えください。	起床時に体温・脈拍・血圧測定します。 ・排便時血が混じる事がありますが続かなければ問題ありません。 ・重たい荷物を持ったり、長時間の立ち仕事、激しい運動は避けてください。 ・腹痛や下血が続く場合は出血が考えられるため受診してください。

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得ることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予測されるものです。